

テナ宮のアンテナ

進化するオフィスビルの共用部 ——働く環境を豊かにする最新トレンド

「最近のオフィスって、なんだか居心地がいい」

そんな声が聞こえてくるようになったのは、共用部の進化が大きな理由かもしれません。

食堂やラウンジ、エレベーターホールなど、これまで“通り過ぎるだけ”だった空間が、今では働く人の心と体を支える大切な場所になっています。今回は、そんな共用部の進化を感じられるオフィスビルを、カテゴリ別にご紹介します。

■食堂

【TOFROM YAESU】

働く人の「ウェルビーイング」を向上させる空間。



(出典：東京建物株式会社プレスリリース)

13階にあるウェルビーイングフロア「Wab.」は、美味しく身体にもよい食事を提供する食堂機能だけでなく、サードプレイスとして多様な過ごし方を選択できるラウンジ空間、コミュニケーションの促進に寄与するイベントキッチンやイベントスペース、脳科学で実証された音楽と映像による刺激で集中・リラックスできる個室ブース等を備え、働く人、一人一人のウェルビーイング向上に資する多彩な取り組みを提供する空間となっています。

【BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S】

“食べる”も“働く”も、心地よく。



(出典：野村不動産株式会社より提供)

7階に設けられたカフェテリアは、WELL 認証プラチナ取得の健康志向メニューが魅力。リーズナブルな価格帯で、食事以外の時間はワークスペースとしても活用できる、柔軟な空間です。

【JP タワー大阪】

“健康的な食事”が、働く力を支える。



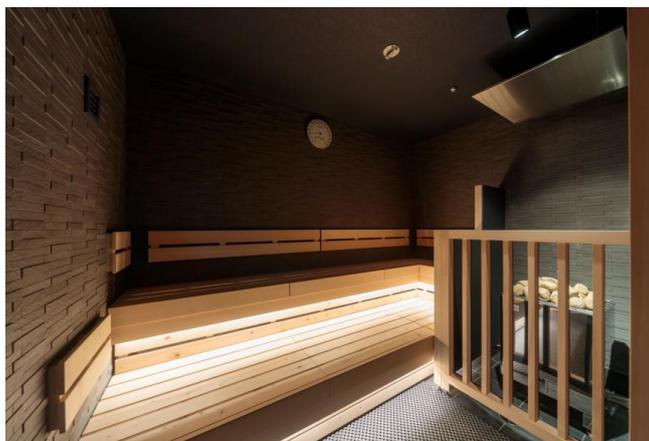
(出典：日本郵政不動産株式会社 HP)

9階には、開放感のある心地よい空間で、健康的な食事をリーズナブルに楽しめるダイニングを設置。ウェルビーイングを意識した設計で、働く人の毎日にやさしく寄り添います。

■ サウナ

【五反田 JP ビルディング】

“ととのう”が、仕事の質を変える。



(出典：日本郵政不動産株式会社より提供)

オフィスビル内に設けられたサウナは、働く人の心身をリセットする特別な空間。集中力の向上やストレス軽減、健康促進など、サウナの効果はビジネスパーソンにとっても大きなメリット。仕事の合間に“ととのう”時間を持つ、これからのオフィスの新常識です。

■屋外テラス

【BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S】

海と空に包まれる、都会のオアシス。



(出典：野村不動産株式会社より提供)

スカイテラスは、海を一望できる開放的な空間。地上約 140m の空と海を間近に感じられるテラスで、リフレッシュや気分転換はもちろん、貸切でのイベント利用も可能。働く人の“余白”を大切にする、新しいオフィスのかたちです。

■エレベーターホール

【関電不動産渋谷ビル】

“移動の一瞬”が、企業の顔になる。



(出典：関電不動産株式会社 HP)

エレベーターホールの壁面を自由にデザイン可能。企業の世界観やメッセージを発信できる、共用部の新しい使い方が注目されています。

■ ラウンジ

【虎ノ門アルセアタワー】

“使い方自由”のラウンジが、働き方を広げる。



(出典：日鉄興和不動産株式会社より提供)

2F と 22F に設けられたラウンジは、休憩からイベントまで多彩に活用可能。ラウンジの貸し切り利用に加え、2F にはバイリンガル対応のコンシェルジュが常駐し、働く人を多方面からサポートします。

いかがでしょうか。

オフィスビルの共用部は、今や“働く場所”を超えて、企業の価値や働く人の毎日を支える重要な存在になりつつあります。

ご紹介したような空間の工夫が、働きやすさや企業の魅力を高めるきっかけになるかもしれません。

もし少しでもご興味をお持ちいただけましたら、ぜひお気軽に、三菱 UFJ 信託銀行 テナントリーシング営業部までご相談ください。

皆さまの理想のオフィスづくりを、私たちが全力でサポートいたします。

オフィス探しに関するご照会先

三菱 UFJ 信託銀行 テナントリーシング営業部

03-6250-3535

営業時間/平日 9:00~17:00 (土・日・祝日等を除く)